

私たちは「會主さまのみ教え」「先祖供養」「お導き」を頂戴しています。しかし、私たちはわかっていても、朝夕お経を上げられない。お導きをしなさいと言われても、足を前に出せない。

私が幼少の頃、會主さまに「どうしてお経を上げられないのでしょうか」と伺うと「魔が邪魔するんだよ。必ず人間というのは、善いことをしようとする、自分の中にある『魔』、『魔物』が邪魔するんだよ」「他人のせいではない。自分が持っている魔物が足を引っ張っている。その魔物は、良いことさせたくないから悪いことをさせて、それを餌にしているんだよ」とご指導を頂きました。

皆さんは仕事が忙しい、育児が大変と、いろいろな理由をつけます。魔物は、人間が悪いことを口に出すと、それを「餌」にするのだということを、會主さまから教わりました。

「善いことは口に出せ、悪いことは飲み込め」と、大導師さまにご指導を頂きました。悪いことを口に出してしまうと、己の中にいる魔物がそれを食べるのです。ですから、思っても言わない方がいいのです。皆さんが悪いことを思うのは、皆さん自身ではなく、中にいる魔物が言わせている、思わせているということ、ぜひ理解してください。

私たちが愚痴を言い、人のせいにするのは、本当は「嘘」をついていることなのです。「やります」と言ってやらなければ、靈界に対して嘘をついていることですから、大変なことになります。突き詰めると、靈界に対する「詐欺」と同じで、詐欺や窃盗の事件を「ひどいな」と思っても、知らず知らずに似たようなことを尊い靈界やご先祖さまに対してしているわけで、それはあってはなりません。

何度も愚痴を言ったり悪いことを考えたりするのは、「もう 1 人の自分」がいるということです。會主さまは、この悪い「もう 1 人の自分」を「できるだけ少なくしろ」「それが人格完成なんだ」とおっしゃいました。

それが妙智會の修行であって、お経にしてもお導きにしても、相手を思う、ご先祖さまを思う、苦しんでいる人を導く。そういう気持ちで、欲深き自分の持っている、もう一人の自分を小さくできるのです。「人格完成に努力しよう」と妙智會は言いますが、お経とお導き以外に方法はありません。

3 月春の大法要の月に、ぜひ己を振り返りながら、できるだけ自分の持っている悪いところを小さくする修行しましょう。それにはお経と、お導きしかないと理解して、心に頂戴してください。

會主さま、大導師さまがずっと皆さんに指導しているのは「お経をあげる」「お導きをしなさい」ということです。それに愚痴を言うことは、あってはならないことで、言えば言うほど自分の持っている悪いものを育ててしまいます。ぜひそこをしっかりと受け止めて、お経をあげる、お導きをする。そして根性を正す。その間は、絶対に愚痴を口に出さないで、自分の持っている魔物に餌を与えないでください。餌を与えないで魔物を育てなければ、魔物はどんどん小さくなっていきます。そうすれば魔物に勝つのです。

會主さまに感謝、大導師さまに感謝ですね。ぜひ今月は、特にお二方の大切な月ですから。もう愚痴を言わずに、自分勝手な理由を作らずにお経をあげる、お導きをすることを徹底してください。

皆さんが良くなることで、悪い根性が取れる。そうして悪い根性、悪い自分が小さくなっていくと、素晴らしい人生を送ることができます。ぜひ 3 月は、そういう機会の月にしてください。